

志の言の葉（第4集）

～大切な人に伝えたい私の思い～

志布志市教育委員会 編

はじめに

志布志市教育委員会

『志の言の葉』大切な人に伝えたい私の思い（第四集）』として作成を進め、ここに完成しました。皆様にお届けできることを大変うれしく思います。

本文集には、市内の全小学校・中学校から選出された小学一年生から中学三年生までの子どもたちの百二十五点を掲載しています。さらに、今回は地域の方々や保護者からも寄せられた十点の感謝の言葉も掲載しました。その中には、伝えたい感謝や思いが心から溢れ出しています。

尊敬してやまない保護者への感謝、

いつも愛を育んでくれる家族への思い、

厳しくも優しく導いてくれる先生への感謝、

支え合い助け合える仲間や友達への感謝、

子供への愛あふれるメッセージ、

そして見守ってくれる地域の皆さんへの感謝の言葉。

様々な言葉から伝わる思いを、ぜひ感じていただきたいと思います。そして、子どもたちへの優しい目線で見守りながら、励ましと厳しさを持って期待を寄せていただければと願っています。この文集が、明日への活力と豊かな未来創りへの一歩目へのステップとなりますように。この一編が、そのきっかけとなれば本当にありがたいと思っています。

令和七年二月吉日

目次

はじめに

保護者へ
・
・
・
・
・
P 1
}

家族へ
・
・
・
・
・
P 16
}

先生へ
・
・
・
・
・
P 27
}

保護者から
・
・
・
・
・
P 32
}

地域の方へ

夢や目標
・
・
・
P 34
}

友人へ
・
・
・
P 44
}

編集後記

保護者へ

おいしいいちごをそだてるお父さん

松山小学校三年

お父さんはいちごを育てています。いちごの手入れをしていつもおいしいいちごを作っています。ぼくが、「おいしい。」とパクパク食べることができるのはお父さんが毎日がんばって、育ててくれているからです。ぼくは、朝、六時半におきますが、お父さんは五時には起きています。いちごがたくさんできるり由は、お父さんが朝早くから、暗くなるまでお仕事をがんばっているからです。これからもがんばってほしいです。

たのしいお父さん

松山小学校六年

お父さん、いつもサッカーの応援に来てくれてありがとう。月曜日から金曜日まで、あついで、仕事をしているのに、土、日の二日間にサッカーの会場まで送ってくれたり、大会の応援をしてくれたり、そんなお父さんがたのもしいなと尊敬します。自主練も手伝ってくれます。ぼくがミスをして落ちこんでいるときにはげましてくれれます。つかれているのに、ありがとう。今度の試合ではシュートを決めて活やくするからね。

ぼくのお父さん

尾野見小学校二年

ぼくのお父さんは、夜おそくまでおしごとをがんばっています。いそがしいのに、おいしいごはんもつくってくれます。いつもお風呂から上がってテレビを見ていると、

「ごはんだよ。」と、みんなをよぶお父さんの声が家じゅうにひびきます。そして、テーブルの上を見るとおいしそうなごはんがまっています。お兄ちゃんもお姉ちゃんもみんなそろって、

「いただきます。」と言って食べます。ぼくは、お父さんのつくるごはんが大好きです。とくに、クリームパスタがおいしいです。お父さん、いつもおしごとしてくれてありがとう。またおいしいクリームパスタをつくってね。

お父さんへ

尾野見小学校三年

大好きなお父さん、いつも家ぞくのために、おしごとをがんばってくれてありがとうごさいます。毎日、ハウスの中でたくさんあせをかきながら作業をしていますね。わたしはそんなおとうさんを見て、ねっちゅうしようにならなにかしんぱいです。毎年ねっちゅうしようになつてびょういんでてんてきをうっていましたね。体に気をつけてしごとをがんばってください。大好きなお父さん、いつもありがとう。

いつもありがとうございます

尾野見小学校五年

ぼくは、世界で一番お母さんが好きです。なぜかというと、毎日おいしいご飯を作って食べさせてくれるからです。他にも、家のそうじをしたり、ぼくに勉強を教えてくれたりします。そんなお母さんは、前田家にかかせないそんざいです。お母さん、本当にいつもありがとうございます。

心がけ

志布志小学校六年

私は、学校から帰ってきたら必ず心がけていることがあります。それは、お手伝いを一日一つ以上することです。父と母はいつもお仕事を頑張ってくれて帰ってきてからは、家のこともしてくれています。母は、「疲れるから、そんなにしなくてもいいよ。」と声をかけてくれるけど、父と母から「ありがとう」と言われるとお手伝いをしてよかったとうれしい気持ちになります。親からしたら当たり前のこともかもしないけど、してくれることを当たり前と思わず、これからも協力し合いながら生活をしていこうと思います。

僕のお母さん

志布志小学校六年

ぼくのお母さんは、毎日大忙しです。家事をしたり、ぼくたちのお世話をしてくれたり朝からみんなが寝るまで動いています。

去年の冬に三人目が産まれて、ぼくは、弟が二人になりました。オムツを替えたり、ミルクをあげたりと、また、お母さんは忙しそうです。なので、ぼくも何か手伝うことは、ないか考え、最近、お母さんに教えてもらい八ヶ月になる弟をお風呂に入れていきます。最初は、体を支えるだけでも大変だったけど、今では、きれいに洗ってあげられるようになりました。

お母さんが、「ありがとうございます。助かるよ。」と言ってくれて、とても嬉しかったです。ぼくも毎日がんばっているお母さんに「ありがとうございます。」

おかあさんありがとうございます

香月小学校一年

ぼくは、ことし一ねんせいになりました。そして、サッカーもならいはじめました。おくりむかえやおべんとうづくり、たいへんだけがんばってつくってくれてありがとうございます。いつもおしごとのえいぎようもおつかれさま。大すきだよ。

がんばってるねお父さんとお母さん

香月小学校三年

わたしは、お父さんとお母さんにかんしゃしています。お父さんとお母さんは、いつもすてきな物を買ってくれたり、行きたい場所につれていってくれたりしてくれます。早出じやない日は朝ごはんをよくお父さんが作ってくれます。お母さんは、夜ごはんを作ってくれたり、サンキューのユーホーキヤッチャーでとりたい物をとるのを手つだってくれたり、お買い物するとき、おかしを買ってくれたりします。

そのほかにも、「がんばってるなあ。いそがしそうだなあ。」と思うことがいくつもいくつもあります。毎日がんばっているお父さんお母さんを見てみると、たまにはサプライズやお手つだいをしてあげたいなあとか、こんなことをしたらよるこんでくれるかなあと思います。

お母さんいつもありがとう

香月小学校四年

いつも夜仕事から帰ってきたら、のこっているあらい物、家のきたないところのそうじなど、いろんなことをたくさんやってくれてありがとう。部活や習い事をやらせてくれるから、運動しんけいがよくまりました。しょうらいに向けてがんばりたいと思います。

父のいいところ

潤ヶ野小学校五年

ぼくの父は、とてもやさしいです。いろいろな所に連れていってくれます。たまにきびしいときもあるけれど、それはぼくを教え、みちびいてくれるものだと思っています。ぼくが思っていることを聞いてくれます。父さん、本当にありがとう。これからも、よろしくね。

大切なお父さんとお母さん

潤ヶ野小学校四年

お母さんは、夜ご飯をつくったりしてくれます。あとお風呂掃除とかへやの掃除とかをしてくれます。お母さんが作ったご飯は、とてもおいしいです。じぶんでもそうじをがんばりたいと思います。お父さんは、僕たちのためにしごとをがんばってくれています。いつもありがとう。そしてお父さんは、買い物に連れて行ってくれたりクレーンゲームもつれていってくれたりします。お母さん、お父さん、いつもありがとう。

わたしは母の日に、お母さんがほしいといつも言っていたものを買ってあげました。わたしだけではお金が足りなかったけど、お兄ちゃんとお姉ちゃんとわたしでお金を合わせると買うことができました。お母さんに、三人からサプライズであげると、

「ありがとうございます。」

と、お母さんはとてもうれしそうでした。お母さんのよろこぶ顔を見て、わたしもうれしくなりました。わたしたち家ぞくの中で、お母さんが一番がんばっているのです、わたしは心の中에서도「ありがとうございます。」と言っています。お母さん、体に気をつけて、これからもがんばってね。

ありがとうございますお母さん

安楽小学校四年

わたしのお母さんは、毎日四人の子育てと仕事をがんばっています。朝早くから夕方まで働いて、帰ってきたらご飯を作って、わたしたちがご飯を食べているときに、一番下の妹をねかしかけて、ご飯を食べるのも後からのことが多いです。

お母さんは、元気で面白くて楽しいことが大好きです。お母さんがいるといつも家の中は明るいんです。みんなを笑顔にしてくれます。

これからも、そのままのお母さんでいてほしいです。

お母さん、いつもありがとうございます。

一番、働くお母さん

安楽小学校五年

わたしのお母さんは、家族の中で一番、働いています。

その理由は、朝、昼、ばんのご飯を毎日作ってくれたり、せんとく物もほしてたんだりしてくれたりするからです。家の家事のほとんどをしてくれているお母さんをわたしはすごくそんけいしています。わたしは、もう五年生なので、お母さんが仕事で家にいないときは、わたしが家事をやろうと思いました。

母からの愛情

田之浦小学校六年

私は、毎日仕事や家事などで忙しい母を見えています。朝起きると、朝ご飯を作ったり、水とうを準備したりして大変です。準備が終わり、それぞれ、学校や仕事に行く時間になると、私と妹を学校まで送ります。そこから、大変な仕事にかかります。私にとって、母とは、一生懸命な人だと思っています。私は、母の大切さ、母のやさしさをたくさん見てきました。寒い日の夜には、家族みんなにふとんをかけてあげたり、リビングでねてしまつたらふとんまでつれていってくれたり、今まで**はく**さんの愛情で育てられました。母へ、これからも、母の子としてせいっぱいがんばります。

お母さんへ

森山小学校六年

ぼくのお母さんは、七年前から日本で働いています。日本に来てから日本語の勉強をしながら仕事をしました。ぼくは、今年の十一月に日本にきました。日本語はとても難しいです。でも、先生や友達が言うことが少しずつ分かるようになってきました。お母さんは日本語が少ししか分からないときから日本で働いていて、がんばったと思います。

お母さん、ぼくに日本語を教えてくださいありがとうございます。ごはんをつくってくれてありがとうございます。これからは、もっと日本語が上手になるようにがんばります。

お母さん、これからも元気できてね。

お母さんへ

森山小学校五年

ぼくは、お母さんが大好きです。お母さんは優しく、いつも笑顔でいてくれます。時々怒ることもあるけど、すぐに笑顔に戻ります。

そして、毎日仕事で忙しくて、おばあちゃんのお世話も大変なのに、ぼくを学校まで送ってくれます。お母さんを疲れさせてしまうけど、ぼくは毎日うれしいです。前みたいにスクールタクシーで登校できるように頑張るから、あと少しだけ待ってください。

これからも、お母さんが毎日笑顔でいられるように、自分で出来ることを増やしていくので、お母さんも疲れないように頑張ってください。

いつもがんばってくださっているお母さんへ

伊崎田小学校四年

お母さん、いつもいっしょにドライブをしたり遊びに行ったりしてくれてありがとう。

お母さんはいつも、朝早く起きてまだねていたいと思っっているだろうに、朝ご飯を作ったり、わたしを起こしたりしてくれていつもお世話になっています。いつも朝ご飯をゆっくり食べていてごめんなさい。早く朝ご飯を食べられるようにがんばります。

でも、いっしょに遊んでくれるお母さんもわたしのためにしかってくださるお母さんも大好きです。これからもよろしくおねがいます。

大好きなお父さんへ

伊崎田小学校五年

いつもソフトの練習に付き合ってくれたり、せんたくものや料理などの家事をしてくれたりしてくれてありがとう。ソフトの練習は、毎日、夜の八時ぐらまで、ピッチャーの練習やバッティング練習などをしてくれます。家事やわたしの家族のためにしてくれて、とても助かります。わたしは、お父さんのおかげでとても笑顔で元気にすごせます。これからも仕事をがんばってね。いつもありがとう。大好き。

私のためにいろいろしてくれるお母さん

蓬原小学校五年

いつも私がしていることを手伝ってくれたり、料理を作ってくれたりしてありがとう。ラインでお悩み相談を作って最近あった出来事を打つと返事してくれます。話すのはラインが多く、直接話すのは少しなので安心するし、おこられないので本当に助かっています。

「お母さんも相談していい。」と言うと、お母さんは、「お悩み相談があるだけで、気持ちが楽になるからいい。」と言ってくれました。私は、「困った時は本当に言ってね。できるかぎりのことはするから。」と伝えると、お母さんは、「ありがとう。その時はよろしくね。」と言ってくれました。お母さん、いつでもたよってねと思いました。

てんごくにいったおとうさん

野神小学校三年

おとうさんいつもおとうさんと楽しくすごせるのにあんじゅちゃんとかんかするけど、おとうさんは、いつもやさしくしてくれてありがとう。

いつもかぞくのことを見まもって見てくれてありがとう。これからはおとうさんがいきもちになるようにがんばるね。だから、いつもおとうさんは、かぞくを見まもって、かぞくみんな楽しくすごして、かぞくぜんいんで、いきていこうね。

大好きなお母さんへ

野神小学校三年

いつもおいしいりよう理を作ってくれたり、いろんなところにつれて行ってくれたりしてあげがとう。ぼくは、おつちよこちよいでいつも、兄ちゃんとけんかしちゃって毎日めいわくをかけたいるけど、お母さんのことが大好きだよ。これからもよろしくね。

パパへ

有明小学校一年

いつもおしごとがんばっているパパありがとう。パパがかえつてくると、わたしはとってもうれいよ。パパとあそぶじかんがいちばんたのしいんだ。このあいだ、おうちのまえでかぶとむしをつかまえたのをおぼえてる？どんなふうにごくのかみることができたよ。それからじてんしゃのれんしゅうにつきあつてくれてありがとう。パパがおしえてくれるからどこかへいけるのをたのしみにしてがんばるね。これからもいっぱいあそぼうね。パパだいすきだよ

おかあさんへかんしゃのきもち

有明小学校一年

おかあさんは、いつもはやおきです。みんなよりはやくおきて、あきごはんをつくってくれます。おしごとからかえつてきてからは、よるごはんをつくってくれます。

あさねむたいときもあるとおもうし、おしごとでつかれているときも、まいにちかぞくのために、ごはんをつくってくれます。

おかあさんのおかげで、まいにちおいしいごはんがたべられます。おかあさん、いつもありがとう。

わたしのお父さん

有明小学校三年

わたしのお父さんは美よう室の仕事をしています。お店は家とくつついていて、毎日たくさんのお客さんがきてくれています。お父さんは、朝、店のタオルをたくさんせんたくして大変そうです。形がくずれないように、パンパンとせいのぼしてほすのが大切みたいです。八時になったらお店を開けて、お客さんが来ます。一人ひとりとお話をしながらカットを始めます。お店がしまつてからそうじをします。お父さんはとてもきれいな好きなので、お店はいつもピカピカです。おわつたらおふろに入つてごはんを食べます。その後、わたしたちと遊んでくれます。いつもいっしょけんめいなお父さんが大好きです。

お父さんとは

有明小学校五年

ぼくのお父さんは三十七さい。見た目より年上に感じる。仕事は保育園の園長先生をしているからか、声はとても大きい。

ぼくがお父さんをすごいなと思うのは、ソフトのかんとももしているからだ。七月末にぼくたちは、広島のかれ市で西日本大会に出場した。ここにくるまでいろいろと大変だったと思うし、たくさんのことを考えていると思う。それを見せずに、ぼくたちのチームを広島まで行けるようにがんばってくれたことをすごいと思うし、そんけいする

これからお父さんについていけるように、ぼくも日々がんばりたいと思う。

父へ

通山小学校六年

いつも、私たち家族を支えてくれて、ありがとう。なかなか素直になれなくて言えないけど、私はお父さんのことをとても大切に思っています。ソフトボールでは、いつもいろいろなことを丁寧に教えてありがとう。キャプテンなのにふざけてしまっただけでおこられたときは、自分もむきになって無視をしたり、言い返してどんどん仲が悪くなってしまうたりしました。最後の運動会の親子競技でも「お父さんとは嫌だ。」なんて言うでごめんなさい。本当は、お父さんのこと大好きです。これからも、よろしくね。

お母さんへ

通山小学校六年

お母さん、いつも家族のために家事や育児を頑張ってくれてありがとう。お母さんはいつも優しく、おもしろくて、すごく大好きです。料理もおいしいし、そうじや洗たく物を毎日できるお母さんは、私のあこがれの人です。それにお仕事にも行って、私や妹たちにたくさんのご飯や、おかしを食べさせてくれたり、いろいろなところに連れて行ってってくれてありがとう。お母さんもたまには休んで、元気でいてね。これからはたくさんお手伝いするからね。いつも見守ってくれてありがとう。これからも見守っていてね。ずっとずっと大好きだよ。十二年間大切に育ててくれてありがとう。これからもよろしくね。

お父さんへ

通山小学校六年

お父さんへ、毎日休みを全くとらないで家族のために働いてくださってありがとうございます。お父さんが働いてくれるからいつも温かいご飯やいろいろな服やゲーム機も買えたり、食べることができたりします。休みはお店に行つて買い物をしたり、出かけて旅行に行けたりして、ぼくは楽しいことがあつたりおもしろいことや悲しいこともあるけど、いつも家族と話したり暮らせることが、何よりも一番幸せです。これからもよろしくお願いします。ぼくもがんばるので、お父さんもがんばってください。ここまで育ててくださってありがとうございますございました。

大すきなお母さんお父さんへ

原田小学校二年

大すきなお母さん、いつもいっしょにおふろに入ったり、おいしいごはんをつくったりしてくれてありがとう。わたしは、お母さんがつくってくれるビーフシチューが大すきだよ。

大すきなお父さん、いつもわたしたちをよるこばせてくれてありがとう。朝早くおしごと行つていそがしいのに、たくさんおでかけにもつれていってくれるよね。いろんな思い出があるよ。こんどのかぞくりよこもたのしみだね。ふたりとも大すきだよ。

おとうさんへ

山重小学校一年

おとうさん、おさかなをとつてきて、それをおいしいおさしみやものにしてくれたり、いろんなあそびをおしえてくれたりしてありがとう。

おおきくなつたら、おとうさんといっしょにうみにもぐつたり、サーフィンをしたりしたいです。おとうさんみたいになんでもできるひとになりたいです。

お母さんありがとう

山重小学校三年

ぼくのお母さんは、手じゅつ室のかんごしのお仕事をしています。夜おそくまで手じゅつがあつて、帰ってくるのがおそくなる時があります。そんな中でも毎日ごはんを作ってくれたり、習い事もさせてくれたりします。

野球の練習やし合でもいつも見に来てくれてとてもうれしいです。

ぼくは、毎日いそがしいお母さんを見て家のお手つだいをしたり、お母さんにマッサージをしたりしています。

これからはずっとお母さんのお手つだいをがんばるね。こまったときは、ぼくをよんでね。毎日ごはんを作ってくれてありがとう。おいしいごはんのおかげでいっぱい食べられます。

いつもありがとう。

ありがとう、お母さん

松山中学校一年

僕の母は優しいです。僕が落ち込んでいるとき、いつもこう言ってくれます。「今日、何かあったの？」僕の母は、厳しいときは厳しいです。僕がネガティブなことばかり言っていると、いつもこう言います。「シヤキツとしなさい。」厳しく怒られるときはもちろん嫌ですが、必ず最後には励ましてくれます。そのとき、「また頑張ろう。」という気持ちになれます。僕には目標があります。それは、母のようなほかれる大人になることです。母に「大人になったね。」と認められる日が来ることを願っています。

感謝を言葉に

松山中学校一年

私の母は、四六時中働いています。体調を崩しただろうなというときであっても、働きに行きます。私たち家族のためです。母が体調を崩したとき、「お母さん、大丈夫？」と声をかけました。大丈夫なはずはありません。母は「大丈夫だよ。心配させてごめんね。」と逆に謝ってきました。私はいつも、本当は母に感謝しています。しかし、素直に感謝の言葉をかけられません。いつか「いつもありがとう。大好きだよ。」と言いたいです。

私の名前は「美杜」です。「みと」と読みます。初めて目にした人は、読み方に困ります。ある日、どのような由来があるのか、両親に尋ねました。すると、「美しい杜の妖精のような人になってほしいから。」という答えが返ってきました。短い答えの裏に、両親が二人で一生懸命考える姿が浮かびました。私の心は、すっかりうれしい気持ちで満たされていました。「美しい杜の妖精のような人」とは、どのような人でしょうか。答えを探しながら生きていこうと思います。そして、これからも自分の名前に誇りを持ちたいと思います。

父への感謝

松山中学校 三年

父は不器用です。普段、決して口数は多くありません。私が中学生になってから、父に反発することが多くなりました。しかし、気が付くと、父とよく話をするようになっていました。そして、これまで学校生活の疲れを一方的にぶつけていたことに気がきました。だんだん申し訳なくなってきました。「謝ろうか、どうしようか。」と悩んでいたとき、父が突然「ありがとう。」と言いました。口数の少ない、あの父が感謝の言葉を発するとは。驚きました。実は、まだ父に感謝の言葉を言えていません。「ありがとう。」と言えるチャンスがうかがいたいと思います。

お母さんいつもありがとう

志布志中学校二年

お母さん、私とお母さんは性格があまり似ていないけど、いつも私のことを理解してくれて、支えてくれてありがとう。疲れて仕事から帰ってきてても、おいしいごはんを作ってくれたり、雨の日は送り迎えをしてくれたりしてありがとう。お母さんには、毎日伝えきれないほどの感謝をしています。そして、できるだけ私もお母さんの手伝いをたくさんしていきたいと思っています。私は今、そんなお母さん、お父さん、私を支えてくださっている人達のために、自分なりにがんばっています。今から、これまでの感謝の気持ちを言葉で伝えていきたいです。まだまだ未熟なところもあるけど、これからはずっとよろしくね。

悲しい思いをさせてごめんね

志布志中学校三年

私は、母をたくさん困らせて、悲しませてきました。本当に、母には申し訳ないと思っています。これからは、母を困らせないように、弟と私で母を支えていきたいなと思います。母は病気を抱っていて、体調が悪い日が続くことがあるので、支えていきたいです。私は受験生ですので、これから母に迷惑をかけるかもしれないですが、できるだけ迷惑をかけないようにしていきたいです。特に、弟が母に迷惑をかけていますが、私は母を守っていきたいです。長女として、これからは母を困らせたり悲しませたりしたくないです。もし、悲しませたら母には申し訳ないですが、できるだけ母を悲しませないように、私は心がけて生活していきたいです。これからも、母を大切に支えて生活していきます。

いつもありがとうございます

有明中学校一年

私の親はとても優しいです。だけど厳しいときもあります。ダメなことはちゃんとダメと叱ってくれて、楽しむときは、全力で笑わせてくれて、楽しくて、メリハリがきちんとしていて、毎日がハッピーです。

休みの日はゆっくり家で過ごしたいのに、私達のがままや文句で、いろんなところに連れて行ってくれてありがとうございます。

部活の大会など遠いところまで連れて行ってくれてありがとうございます。これからもいろいろ怒らせたり、迷惑をかけたりすることが多いかもしれないけど、よろしくお願ひします！

いつもありがとうございます

有明中学校二年

母へ。いつも世話をしてくれてありがとうございます。朝急いでいるのに、朝ご飯を作ってくれたり、洗濯物を干したりなど、自分のことを後にして家庭のことをしてくれてありがとうございます。仕事が終わり疲れているのに、帰ってきてすぐご飯を作って、僕たちの話や相談を聞いてくれてありがとうございます。せつかくの休みの日に遊びに連れて行ってくれて、部活の試合の送り迎えや応援をしてくれてありがとうございます。僕が学校で体調不良になったとき、忙しくても迎えに来てくれてありがとうございます。僕はそんな母にいつか恩返しをしたいです。

お母さんへ、いつもありがとうございます

宇都中学校一年

お母さんいつもありがとうございます。お母さんは練習から帰ってきた僕を見て「今日も頑張ったね」といって土で汚れた服をきれいになるまで洗ってくれます。僕はそのおかげで明日も練習を頑張ろうという気持ちになれます。試合のある日はたまにしかない休みなのにわざわざ応援にまで来てくれます。僕はそんなお母さんを見て「絶対に勝つぞ」と気合いを入れます。試合後は栄養バランスを考えて作ってもらった弁当を食べます。いつもおいしい弁当を作ってくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

お母さんへ、いつもありがとうございます

宇都中学校一年

お母さん、いつもありがとうございます。欲しい本を買ってくれたり、いつもおいしいご飯を作ってくれたり、一緒にお出かけしたり、お母さんと一緒にいると、楽しいことがたくさんあり、感謝してもきれません。そして、私がお母さんの誕生日にプレゼントをわたしたら、とても喜んでくれてこちらも、とても嬉しくなりました。喜んでもらえて良かったです。時には、私がお母さんがママを言い困らせたこともありましたが、優しく「今回だけね。」と言ってくれて本当にお母さんの子に生まれてこられて良かったです。これからも、わがママを言い、困らせることがあるかもしれませんがその時はすみません。改めて、いつもありがとうございます。

ありがとうございます

伊崎田中学校一年

私が感謝を伝えたい人は、母だ。私は今年、中学生になった。中学生になって間もないころ、部活に入ったり、宿題が多かったり、新しい環境になれていない時、おいしいご飯を準備して私の帰りを待ってくれていた。それが、大きな心の支えになった。他にも、宿題やテキスト勉強でつかれていた時、さし入れを持ってきてくれたり、手伝ってくれたりした。おかげさまで良い成績がでた。

だから、「ありがとうございます。」と感謝を伝えたい。最近、話すことも少なくなつて、本当の思いを直接伝えることがなくなつたけど、本当に感謝している。私は、精一杯の「ありがとうございます。」と「これからもよろしくね。」という思いを伝えたい。

父に感謝

伊崎田中学校二年

僕は、小学一年生から父にソフトボールを教えてもらっています。父は、幼かった僕に最初から丁寧にキャッチボールやバッティングについて教えてくれました。僕にとって父とソフトボールをする時間はとても楽しい時間でした。そしてどんどんソフトボールが好きになりました。小学六年生の時には鹿児島県で一番大きな大会でベスト8になることができました。中学生になり鹿児島県代表として全国大会に出場し初の優勝を経験することができました。父が一つ一つ教えてくれた事が僕の結果につながったと思います。これからも父からたくさん教わり、感謝してソフトボールがもっと上手くなるよう努力したいです。「お父さん、これからもよろしくお願いします。」

家族へ

じいじへ

松山小学校一年

いつも、なんなんするときに、わたしのおはなしをきいてくれてありがとう。
こんどは、わたしがじいじのおはなしをきくからね。

ありがとう

松山小学校二年

いつも、わたしがきたときに、アイスを食べさせてくれてありがとう。
つぎは、わたしがたすけてあげたいです。こまったときは、教えてね。

ありがとう

松山小学校四年

わたしのおばあちゃんは、いつもやさしくしてくれます。学校のむかえにきてくれたり、ごはんを作ってくれたり、いつもいろんなことを手伝いをしてくれます。わたしは、そんなおばあちゃんが大好きです。おばあちゃんありがとう。

いつもありがとう

松山小学校五年

ぼくは、おばあちゃんが大好きです。なぜかという、学校にむかえにきてくれたり、いつもいそがしいのにぼくたちのことを色々してくれます。そんなおばあちゃんが大好きです。ぼくたちも手伝いをしてあげたいです。そして、手伝いをして大変な思いをしないようにしてあげます。いつも「大変」と言っています。なのでらくをさせてあげたいです。

勉強を教えてください優しいお兄ちゃん

泰野小学校四年

わたしのお兄ちゃんは二人いる。六才もはなれているけれど、わたしのお兄ちゃんはとても優しい。友達とも仲よくしていて、いつもニコニコしている。

わたしが宿題でこまっているときは、すぐにかけつけてくれるお兄ちゃん。ときには、こわいときもある。だけど、すぐに仲直りができるから、だいじょうぶ。

お兄ちゃんは、じゆくでも勉強をがんばっていて、点数も高い。そんなお兄ちゃんを目標に、わたしもたくさんがんばって追いつきたい、一生けん命がんばろうと思う。

お兄ちゃん、これからもよろしくおねがいます。大好きだよ。

いつもうるさいけど…

泰野小学校六年

今は、「ありがとう」。この一言も言えないほど仲の悪い兄弟に向けて伝えたいです。「いつもいつもけんかばかり。本当にうるさい。」と私は思っています。

私は五人兄弟です。家の中は、耳がこわれそうになるほどうるさくて、ごちゃごちゃしています。私は一人の時間が好きなので、よく一人でいます。けど、そんなリラックスしている私に構わず、兄弟はちよっかいを出してきます。それが本当に嫌でした。私は、ほぼ土日はほぼ一人で。私以外の兄弟は、スポーツをしていて、親は送り迎えをしているので、家の中で一人です。一人なので嬉しいけど、その嬉しさの中にさびしさがあります。やっぱり私は、このうるさい空間が好きです。いつも、ありがとう。

祖父の厳しき

泰野小学校保護者

陸上自衛隊だった祖父は、やさしい中にも人として身につけておくべき行動・態度にはとても厳しい人でした。当たり前のことですが、ご飯の時は食器に手を添え、米粒は残さずきれいに食べる。自分の靴はもちろん、他の人の脱いだ靴もちゃんと揃える。そして何よりも挨拶をすること。おはよう、いただきます、ごちそうさま、こんにちは、ありがとう。どんな時も、誰に対しても、感謝の言葉を口にできる大人になるよう、「躰」をしてくれました。昨年、祖父は亡くなりましたが、いつも自分の行動の中に祖父の言葉が生きています。祖父の志を、我が子にもつないでいけるようにしたいと思います。ありがとう！おじいちゃん。

妹へ

尾野見小学校四年

私には、二才年下と四才年下の妹がいます。そんな妹たちと私は、毎日のようにけんかします。そんなとき私は、「お姉ちゃんなんてもういやだ。」と思うことがあります。

ある日、二才年下の妹がふくつうでご飯も食わずにずっとふとんにくるまっていたときがありました。私はとても心配して、夜、何度か目をさますこともありました。でも、そこまで心配できたのは、心のすみに「妹がいてよかった。」という気持ちがあったからだと感じました。私は、いつかお母さんみたいに優しいお姉ちゃんになりたいなと思っています。けんかしても自分からあやまって仲よしの三姉妹でいたいです。「私の妹になってくれてありがとう。」

ねこのちびた

志布志小学校二年

ぼくの家には、ねこのちびたがいます。ぼくが赤ちゃんのころ、おとうさんが、すてられていたねこをつれてかえってきました。

ちびたは、人なつっこいせいかくで、だれにでもごろごろのどをならしてあまえます。

ぼくが出かけるときは、おみおくりしてくれます。そしてかえってきたときは、はしつてきておかえりのスリスリをしてくれます。

ぼくは、そんなちびたが大すきです。これからもずっといつしよにすごしたいです。大すきってたくさんつたえていきたいです。

じいちゃんとはあちゃんの金婚式

志布志小学校三年

じいちゃんばあちゃん、けっこん五十周年おめでとーございます。すごいね。

二人とも、畑のお仕事たくさんがんばって野さいを作ってくれて、ありがとう。

じいちゃんは、私のピアノをきいてほめてくれるよね。ばあちゃんは、いつしよに遊んでくれたり、習いごとの送りむかえをしてくれたりするよね。本当にありがとう。

じいちゃんと、ばあちゃんがいてくれたから、わたしたちがいます。

まだみんなもお世話になるかもしれないけど、これからも二人なかよく元気でいてね。

やさしいじいちゃんと、ばあちゃんが、大好きだよ。金婚式おめでとー

やさしいお兄ちゃん

志布志小学校四年

私には中学校一年のお兄ちゃんがいます。お兄ちゃんはおこるとこわい時もあるけどやさしい時はすぐやさしいです。私が宿題が分からない時も聞いたらやさしく教えてくれてサッカーのパス練やシュート練も一しよにサッカーをしながら教えてくれて、私はうれしくいつも感しやしています。お兄ちゃんは、自分のおかしも夜ごはんのおかずもいつも私にすこしずつ分けてくれて私にとつてお兄ちゃんは世界で一人しかない大切な大事なお兄ちゃんです。これからもお兄ちゃんをずっと大切にしたいです。

おうえんしてくれたみんな

香月小学校二年

空手のぜんこく大会にむけて、おとうさん、おかあさん、おくりむかえをしてくれてありがとう。お姉ちゃん、いつしよにれんしゅうをしてくれてありがとう。空手のなかまたち、おうえんしてくれてありがとう。空手の先生、まい日しどうしてくれてありがとう。おじいちゃん、おばあちゃん、なっているときにはげましてくれてありがとう。

わたしは、たくさんの人にささえられて大会に出じようします。このかんしゃをわすれずにあいに出ます。

ささえてくれるみんな、いつもありがとう。

大事にしてくれる家族

香月小学校四年

家族のみんな。いつも、わたしのことを大事にしてくれてありがとう。とつても感謝しています。私は、家族にたくさんの愛情をもらっています。私は、やさしいみんなの周りで育つて、とても幸せです。

これまでも、これからも、私は家族をとつてもそんなけいしています。

おじいちゃん、おばあちゃんに感謝

香月小学校六年

私の祖父と祖母は、とても優しいです。いつも、私にいろいろなことをしてくれます。

誕生日のお祝いをしてくれたり、お祭りに連れて行ってくれたりします。私の両親が忙しいときは、そうやって私をよろこばせてくれます。私はそんな祖父母にとつても感謝しています。祖母がいなかったら、できなかつた経験もたくさんあります。

だから、これからは、私も祖父母のためにいろいろなことをしていきたいです。ケーキを作つてあげたり、料理を作つてあげたりしたいです。私がしてもらつた、たくさんの感謝の気持ちをこれから返していきたいと思ひます。

ぼくの、喜入のじいじと、喜入のばあば、いつもいろいろな所に連れていってくれてありがとう。枕崎ヘリポートや浜町ヘリポートに、連れてってくれてありがとう。ぼくの大好きな、ドクターヘリを見られてうれしかったよ。ぼくには、二人の妹とパパとママ、合わせて五人で暮らしています。パパは、麵を作る仕事をしています。ママは、エステの仕事をしています。一人目の妹は、ぼくとにいて真面目でエレクトーンを習っていてとても元気です。もう一人目の妹は、がんで、うそつきで、まるで、鉄腕アトムに出てくるウランちゃんみたいなおてんばです。ぼくは、こんなすばらしい家族で、良かったなと心から思います。

天国のひいおじいちゃんへ

安楽小学校二年

ひいおじいちゃん、天国でも、お元気ですか。ぼくは、元気です。

ひいおじいちゃんの黄色のねこのちょ金ばこと、記念こう貨と虫メガネを、うけとりました。一生大切にするね。

ひいおじいちゃんが、いつもぼくをおうえんしてくれていたから、これからもいろいろなことをがんばるね。

もつといっしょにお話をしたかったな。今おぼんだから、ぼくの家に来るとちゅうなのか、天国に帰るとちゅうなのか、わからないけれど、ずっと元気でいてね。
大すぎだよ。

みんなに笑顔をありがとう

安楽小学校五年

私は、サッカーを習っています。試合のとき、祖父が会場まで連れて行ってくれることもありました。本当は「私のじいちゃん」ですが、試合では、「みんなのじいちゃん」になります。試合で負けて落ち込んでいると、「あきらめるな。」や「まだやれるぞ。」とみんなに声をかけて、みんなを笑顔にしてくれました。私はそんな祖父が本当に、本当に大好きでした。サッカーの練習に付き合ってくれることもありました。アドバイスをくれて、私にもつとまくなってほしいという祖父の温かい気持ち伝わってきました。そんな大好きな祖父は、一年半前になくなりました。祖父のやさしさを忘れず、がんばりたいと思います。じいちゃん、ありがとう。

ぼくのおねえちゃんは、しょうがく6ねんです。おこるとおにみたいにつのがはえます。でも、わらうとまるでアイドルみたいにめがきらきらします。ぼくのからてのトレーニングのときは、コーチをいつもしてくれれます。しあいのときは、だれよりも大きなこえでおうえんしてくれます。ぼくがゆうしようしたときは、なみだしながらよろこんでくれました。おねえちゃんは、びょうきであまりうんどうができないけど、ぼくのためにサポートしてくれます。だからここまですよくなれました。おねえちゃんいつもありがとうございます。ぼくは、おねえちゃん大好きだよ。りゆうもがんばるね。ぼくが大きくなったら、おねえちゃんのことをたすけるからね。

いちりんしゃにのれたよ

蓬原小学校一年

わたしは、きよねんのなつに、いちりんしゃをかってもらいました。でも、まいしゅうれんしゅうしても、てがはなせませんでした。

しがつになって、いつものようにれんしゅうをはじめました。おとうとはるとが、「ひより、がんばれ。ひより、がんばれ。」と、おうえんしてくれました。おもいきってをはなして、まえにこいでみました。するといちめーとるくらい、まえにすすむことができました。わたしはびつくりして、かおがかたまっしまいました。はるとが、「ひより、すごい、すごい。」と、いってくれました。のれるようになったのは、はるとのおうえんのおかげもあるとおもいます。はると、ありがとうございます。

お姉ちゃんのひみつのとっくん

蓬原小学校二年

お姉ちゃん、ありがとうございます。お姉ちゃんが、ひみつのダンスとっくんでたくさん教えてくれたから、おしやかまつりでじしんをもっておどることができました。さいしよは、ぜんぜんできなくて、やめたいなと思っていたんだ。

でも、お姉ちゃんが家でひみつのとっくんをしてくれて、「足のダウンをしていないよ。だから、ずれてしまうんだよ。」と、一つ一つ教えてくれたから、できるようになったよ。それに、できるようになって、すこしずつじしんも出てきて、おしやかまつりでのしくおどることができました。これからも、たくさん教えてね。わたしもお姉ちゃんみたいにうまくなりたいな。ありがとうございます。

お兄ちゃんへ

野神小学校五年

ぼくは、お兄ちゃんに感謝したいことがあります。まずは、けんかもしたけれど時々遊んでくれてうれしかったです。一つ謝りたいことがあります。それは、けんかをした時にお兄ちゃんにおしつけてしまったでごめんなさい。けれど、これからは、しっかり自分がやったら、「ぼくがやりました。」と、しっかりみとめます。次は、勉強が終わった時いっしょに遊んでくれてありがとうございます。遊ぶと、とても楽しいです。これからいっばいめいわくをかけたりまするかもしれません。よろしくお願いします。

まだまだげんきで

有明小学校一年

ひいおばあちゃんへ

いつも「もえちゃんかえってきたのね。」と、まっててくれてうれしいよ。ひいおばあちゃんのほわいとぼーどでいっしょにひらがなのおべんきょうをしたり、べつどのうえにのっておはなししてたくさんわらったりしてるね。

ちよつとわすれたり、みみがとおいけど、げんきでいてくれるひいばあちゃんがいすき。

もえとおんなじたんじょうびのひいおばあちゃん。まだまだいっしょにおいわいしていこうね。ながいきしてね。

おじいちゃんがつくったしん米

有明小学校二年

「とってもおいしいね。」

いつものごはんもたきたてはおいしい。でもしん米はもっとおいしい。とくべつだ。お米がつるつるピカピカで、あまくてかおりがいい。

このお米はぼくのおじいちゃんがつってくれたお米だ。春から一生けんめいあいじょうをこめてそだててくれたんだ。今年はじめのしん米はぼくがたいだ。じ分でたいたしん米はいつものばいおいしかった。かぞくもとてもおいしいとよろこんでくれてうれしかった。おじいちゃんを作ったしん米が、かぞくにしあわせをこんできてくれた。おじいちゃん、いつもありがとう。

大好きなおばあちゃん

有明小学校保護者

私の祖母は、今年で八十二歳になります。

本当に元気で毎日のように散歩もしています。

一人で暮らしているので心配になる事もあるけれど、近くに住んでいるので様子を見に行くこともあります。

おばあちゃんのために、出来る事はしたいと思います。これからも少しずつ、ばあちゃん孝行したいと思います。

「チエちゃん、元気で長生きしてね」

おばあちゃんへ

通山小学校六年

おばあちゃん、いつもありがとう。父や母が仕事るときは習い事の送迎をしてくれたり体調が良くないときはわざわざ病院に連れて行ってくれたり、たまにだけ夜ご飯を作ってくれたりしてとても感謝しています。決して家が近いわけではなく三十分はかかるのにお留守番のとき家に来てくれたり休みの日に遊びに連れて行ったりしてくれてとても楽しいです。お盆やお正月のとき家族が祖母の家に集まりますが、そのときの料理がとてもおいしいです。机がうまるほどたくさん料理が並んでいてすごく食欲がわきます。いつも元気をくれてありがとう。体に気をつけてこれからもよろしく。

おじいちゃんいつもありがとう

通山小学校六年

おじいちゃんがいるから、お米を買わなくていいし、お米がなくなったらお米を精米してくれるからすごく感謝をしています。田植えをしたり、稲かりを体験して大変だとすごく思いました。牛を育てていて、牛のえさを取りに行ったり、牛のふんを捨てに行ったりしている姿を見て、すごいなと思いました。夏は熱中症になったりいろいろな病気にかかったり大変だったけど、元気に仕事をしている姿を見て、おじいちゃんはずいなど見ていて思った。私も、おじいちゃんみたいな強い人間になって、いろいろな人に尊敬される人になっておじいちゃんを越えられるように、がんばるね。これからも、いろいろ手伝いに行くから元気に仕事をがんばってね。応援してるよ。

生まれてきたばかりの赤ちゃんへ

原田小学校四年

赤ちゃんのあなたとは、九才さですね。ぼくは、赤ちゃんがいつ生まれるかなと、とてもドキドキワクワクして待っていたよ。赤ちゃんは、九月十二日に生まれたね。ぼくは、赤ちゃんが生まれたと聞いたとき、とてもうれしかったよ。九月二十日に生まれる予定だったから、学校の先生や学童の先生に教えると、とてもびっくりしていたよ。でも、たくさん「おめでとう。」って、言ってもらったよ。

生まれてきたばかりの赤ちゃん。もつと大きくなったら、サッカーや野球をして、たくさん思い出を作ろうね。ぼくもたくさんお世話するね。すすくと元気に育ってね。

私のヒーロー、おばあちゃん

松山中学校一年

「大丈夫。おばあちゃんがいるよ。」この言葉は、私が救われた魔法の言葉です。母が入院をしていたことがありました。まだ幼く、ずっと駄々をこねて泣いてばかりいた私が強くなり、周りを見て行動することができるようになりました。祖母は、私のヒーローです。「おばあちゃんという存在は、優しいから、何でも許される。」と思っている人がいます。しかし、そうではありません。祖母は、偉大であり、ぬくもりに満ちています。ぬくもりの奥には厳しさも隠れています。魔法使い、母の祖母。これからも私のヒーローでい続けてください。

妹へ

松山中学校二年

私の妹は、とても優しいです。嫌な事があっても、悲しい事があっても嫌な顔せずいつもがんばっています。家の手伝いも何も言わずにしてくれています。そんな妹を尊敬し、感謝し、良いライバルだと思っています。妹に負けないという気持ちで勉強や部活をがんばっています。でも、たまに妹が悲しい顔をすることがあります。そのたびに妹が心配になります。頼りない姉だけど少しは頼って欲しいと思います。いつもありがとう。

応援

松山中学校二年

私には、どんなときでも身近で応援してくれる家族や仲間がいる。学校に行くときに、「行ってらっしゃい」と言ってくれる家族。部活の試合のときは、「ファイト」とそばで応援してくれる仲間。私は、みんなから励まされ、元気をもらっている。不安でいっぱいになってしまったときでも、そばにいてくれたことにとても感謝している。ありがとう。これからは、その恩を返せるように一生懸命頑張っていこうと思う。

私の危機を救う大切な存在

志布志中学校三年

私の家族みんなは、中学最後の自分を励まし、笑いあい、楽しくさせる魔法の人たちだ。

父は、私が行きたいところへ行かせてくれて、その代わりに「ちゃんとがんばれよ。」と声かけしてくれて、心から感謝の気持ちが起こる。

母は、私がインフルエンザや風邪をひいた途端、病院に連れて行き、何かイベントがある時は健康に良い食事も用意してくれる。

二歳上の姉は、私の成績が上がらないと、「次は絶対にできるよ。」とか寮から帰ってきた時に私を心配して安心の表情を浮かべてくれる。

双子の兄は歌が上手で、二人でけんかしていてもすぐに自分が悪かったんだと謝って仲直りし、兄弟がいて幸せだと思う。私は将来、世界中の労働者のために、不平等をなくし貢献していきたい。

お姉ちゃんありがとう

志布志中学校三年

いつも、学校の送り迎えをしてくれてありがとう。家では、ケンカをすることもあるけど、いつも仲良くしてくれたり、一緒にご飯を作ってくれたり、お出かけに行ってくれたり、口では言えないけど感謝しています。二度目の妊娠なのに、いつも帰ってから家のことをしてくれたり、お母さんが仕事で送れない日に学校や部活の送り迎えをしてくれたり。でも、いちばんうれしいのは、私がどうしているのか分からず苦しんでいる時に、相談に乗ってくれることです。相談にのってくれる時は「おいで」と言っただライブに連れて行ってくれるよね。お姉ちゃん、本当にありがとう。

いつも笑顔な祖父、祖母

宇都中学校一年

私は、いつも笑顔でいるおじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。泊まりに行くときもいつも笑顔で、おじいちゃん、おばあちゃんが出迎えてくれます。帰るときも、優しい笑顔で手を振ってくれます。私はそんな、おじいちゃん、おばあちゃん達の優しい笑顔が大好きです。嫌なことや、良いことを話すときも笑って聞いてくれます。私は、その笑顔を見るとなぜか、心が温かくなります。自分まで笑顔になります。おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔は、私にとってエネルギーです。いつも、元気をもらっています。これからも、その優しい笑顔で、私の心を元気にしてほしいです。

私には、三つ年上の姉がいる。私は姉にあこがれを持っている。姉はサッカーをしている。サッカーをしているときの姉がかっこよくて、私もサッカーを始めた。私は、中学生になって、サッカーを続けるかとても悩んだが、姉と同じように部活とクラブチームの両立をすることに決めた。しかし、それは大変なことだった。毎日サッカーでつかれているころ、熊本の高校から姉が帰ってきた。一日だけだったけれど、いっしょにサッカーをした。でも、姉に勝つことはできなかった。「上手くなったね。」とあこがれの姉に言われてうれしかったけれどぐちゃしかった。あこがれるだけではなく、もっと上手くなって次こそ勝ちたい。

私の元気の源のおじいちゃん

伊崎田中学校三年

いつも部活のお迎えに来てくれてありがとう。いつもお小遣いをくれてありがとう。そして、いつも私のことを大切に想ってくれてありがとう。いつもおじいちゃんには私に「ちなを見てると元気が出る。」と言ってくれるけれど、私の方こそおじいちゃんが一生懸命にお仕事を頑張ったり、楽しそうにしている姿を見ると「ちなも頑張ろう。」って元気がでるよ。いつも会おうと笑って声をかけてくれるおじいちゃんが私の元気の源です。これから、受験で会える機会が減っちゃうかもしれないけど受験が終わったら前みたいに色々な所へ行って、色々なことお話ししようね。その為にも無理せずゆっくり休みながら頑張つてね。私もおじいちゃんに負けないよう頑張るね。

先生へ

せんせいへ

泰野小学校一年

せんせい、いつもべんきようをおしえてくれてありがとうございます。はじめは、ぶんやもじもぜんぜんよめなかったけど、2がつきになってからよめるようになってうれしかったです。これからもがんばって、もっともつとべんきようがじょうずになるようにがんばります。これからもきびしくおしえてね。

やさしいピアノの先生

泰野小学校三年

わたしは、木曜日にいつもピアノに行っています。とてもやさしいピアノの先生に、かんしやしています。

わたしがむずかしいと言ったら、

「もう一回やってみよう。」

と、やさしく言ってくれます。わたしがまちがえてしまったときは、

「だいじょうぶ、ゆっくりでいいからね。」

と、はげましてくれます。上手にできたら、たくさんほめてくれます。

わたしは、もっと家で練習して、やさしいピアノの先生に、すてきなえんそうをきかせたいです。とてもやさしいわたしのピアノの先生、いつもありがとうございます。

かんとくコーチへの感謝

尾野見小学校六年

いつもサッカーのことについてたくさん教えていただきありがとうございます。ぼくは時にはうまくできない事があります。その時にアドバイスをしてくれるので、上手にする事が出来ました。ぼくたちがいつも練習をすることが出来ているのは、かんとくコーチが毎日練習メニューを考えてくれるからです。別の仕事をしながらぼくたちの練習や試合に来ていただきありがとうございます。それに応えるためにぼくたちもサッカーに一生けん命取り組んでいきたいです。これからもたくさんサッカーの事について教えてください。

「ありがとうございます」

志布志小学校一年

ぼくは、いちねんせいになって、あさ、がっこうでなくことがありました。さみしいきもちがあったからです。そんなぼくに、せんせいはやさしくこえをかけてくれました。

いまは、たのしくがっこうにいらしています。

せんせい、ありがとうございます

先生たちに感謝を

香月小学校六年

先生たちには感謝しています。自分たちに勉強を教えたり、遊んだり、時にはおこつたりしてくれそうです。すごいことをしたときは、ほめてくれて、だめなことをしたときは、しかつてくれます。そして、自分たちを良い未来へ動かしてくれそうです。だから、先生たちに感謝してもしきれません。今年で先生たちに会うのは最後なので、できるだけ良いことをしたいと思います。

わざを教えてくださいありがとうございます

伊崎田小学校三年

ぼくは、今ドリブルがまだできてないのでサッカーのれんしゅうでドリブルをがんばっています。さいしょは、シュートもまだつよくうてなかったけど、コーチがつよくうてるように教えてくれたから、し合やミニゲームで、シュートがつよくうてるようになりました。これからもサッカーがうまくなるように、わざを教えてください。し合で、ほごしやにうまくなったねと言われたいから、これからもぼくたちにわからないわざを教えてください。

いつもおしえてくれてありがとうございます

野神小学校三年

たんにんの先生へ、いつもやりなおしがあるときにおしえてくれてありがとうございます。でも、やりなおしはにがてだけどおしえてくれてありがとうございます。

大すきな校長先生、ありがとうございます

有明小学校二年

わたしのたんにんの先生が休みするとき、かわりに、べんきようを教えてくださいました。わたしが、わからなくてしつもんしたら、わかりやすく教えていねいにやさしく教えてくださいました。

わたしが、学校についたとき、校長先生がいつもあかるく元気な声で、あいさつしをてくれたので、たくさんの元気をもらいました。

わたしも、あんなふうに、あいさつをできるようになりたいと思いました。いつもやさしくお話をしてくれて、いつもたくさんのことを教えてください、ありがとうございます。

いつまでも校長先生のことが大すきです。

校長先生へ

有明小学校四年

私たちの校長先生は、今年の四月に来ました。でも、七月にとつぜん亡くなってしまいました。校長先生は、毎朝、校門であいさつをしてくれていました。校長室の前にかざってあった季節に合わせた折り紙は、私の楽しみでした。

校長先生と、もつとお話したかったです。

いっしょに運動会やいろんなことをしたかったです。

校長先生、短い間だったけど、ありがとうございました。

先生方のおかげで

松山中学校二年

お忙しい中、いつも私たちに指導をしに来てくださり、ありがとうございます。私たちは、初めは何も分からないまま弓道部に入部しました。でも、先生方が細かく丁寧に教えてくださったおかげで、皆たくさんの中するようになりました。最近、きつい練習が多かったけど、その成果か、久しぶりの前でもよく中りました。これからも、先生方に教わった方法で基礎もしっかり練習していきたいです。あと一年、私たちの指導をよろしくお願いします。

支えてくれた学童の先生

有明中学校一年

私は、小学校の六年間学童に通っていました。学童では、たくさんのことを教わりました。はじめは、勉強が嫌で同級生とさぼることもありましたが、高学年になるにつれて英語検定や数学検定、漢字検定などを受けないといけなくなりました。これらの検定を受けるには、もちろん家族の協力も必要でしたが、一番は学童の先生のおかげです。とても感謝しています。

いつもありがとうございます

有明中学校一年

僕の担任の先生いつもありがとうございます。

僕は、最初中学校は厳しくて大変な学校だと思っていました。ですが、先生が自分の悩みなどに真剣な態度で、聞いて下さったおかげでこの中学校生活が、予想していた以上に楽しくなっています。

それ以外にも、生徒によって態度変えずに一人一人優しく対応しているのを見てこんな大人になりたいと思いました。

こんな憧れや、楽しみができたのは先生のおかげです。先生ありがとうございます。

私の先生

宇都中学校一年

私は小学一年生のときにアフタースクールのダンスを習っていました。低学年のときは遊び半分な気持ちもあり、上手なダンスとは言えませんでした。しかし、あるときのダンスの先生からの、「あこがれる人を見つけて真似してみたら。」という一言でダンスを遊びではなく、本気で取り組むようにしました。小学校六年生のときにはたたくさんの人に嬉しい言葉をたくさんもらいました。六年生の九月に先生が産休に入ったことでさびしさを感じたりやダンスに対しての気持ちも変わったりしました。でも六年生の三月最後のレッスンには先生も見に来てくれ、涙を目に浮かべながら踊りました。今もダンスが続けられているのはあのときの先生の一言があったからです。

陸上の先生へ

宇都中学校一年

私は小学校のころから陸上を続けています。最初のころは走ることに興味がありませんでしたが、先生の指導でだんだんと興味を持ちはじめました。中学生になってから、地区総体、南日本大会など様々な試合がありました。南日本大会では、ライバルに勝ち自己ベストを更新することができました。しかし夏休みごろから故障することが増え、思うように走ることができなくなりました。それでもあきらめずに故障したところを治せるようにがんばりました。これからのどんな作っらいことがあるか分かりませんが、先生が認めてくださる走りができるようにがんばるのでこれからもご指導をよろしくお願いします。

サッカーの先生の言葉

宇都中学校一年

僕はサッカーを習っています。週に三回、サッカーの先生から教えてもらっています。そのクラブでは、走りや、食トレ等きつい練習を主にしています。最初に入ったばかりのときは、きつくてもうやめたいと思っていました。そのときにサッカーの先生が言ってくれた言葉が「自分を追い込め」という言葉でした。走るときも、自分を追い込んだら、いつかきつと返ってくるよ心の中で何回も言っていました。その後も、何事にも自分を追い込みました。その結果、今の僕がいます。試合ではレギュラーをとることができ、重要な役割を任せられています。

これからも、何事にも、自分を追い込み、もっと上を目指したいと思っています。

私が習っていた書道の先生が亡くなり大好きだった書道ができなくなった私。書道ができなくなった私を見て「私でよければ、書道を教えてあげる。」と言ってくれたとき、私はとつてもうれしかったことを覚えています。また習い始めてだんだんと段が上がっていききました。

今では、硬筆五段、毛筆準七段と八段に少しずつ近づいてきています。中学生になり、お手本も少しづつ難しくなり行書も多くなりました。私は、行書が大の苦手ですが、楷書も行書も精一杯がんばります。たまにつまづくこともあるかもしれないけれど、自分なりに考えて八段を絶対にとつて師範目指します。

次は私が教える側になりたいです。

保護者から

ありがとう

泰野小学校保護者

「パパ大好き。」

うちの娘は、仕事に行く時と寝る前の挨拶で、この言葉を言ってくれますが、僕は、言い慣れない言葉なので、「ありがとう」としか返せていません。

私も大人になるにつれて、様々なことを経験して、知識がついてきていますが、素直に言葉に出すことや行動に移すことができなくなったなと思います。普段恥ずかしがり屋の娘ですが、真っ直ぐな眼で言ってくれるので、こちらも真っ直ぐな気持ちで応えていきたいと思います。いつも元気と勇気をくれてありがとう。

こどもたちへ

潤ヶ野小学校保護者

あなたがやどったとき まだわからないおなかを
なでてはいとおしく みらいをえがく
ひにひにおおきくなる あなたのうごきかんで
いのちのおもみと しあわせをかんじる
はじめてのいたみさえも あえるよろこびにかわるよ
ママをえらんでくれて ほんとうにありがとう
むねにだくあなたは わたしのたからもの
ずっとまっていたの あなたにあえるこのひを
うまれてきてくれて ほんとうにありがとう
(子どもたち向けに作ったオリジナル曲の歌詞です)

八歳になった息子へ

有明小学校保護者

七月二十九日の誕生日で八歳になった末っ子。お姉ちゃんと十三歳、お兄ちゃんと十歳年が離れている兄弟。この、姉兄私の癒しのために産まれてきてくれたような子で、身体はポチャポチャ♡八歳になった今でも「ママだーいすき」「ねえねだーいすき」「みんなだーいすき」と言ってくれます。

よく人の話も聞いているし、お話しするのも大好きで、ずっと一人でも喋っています。私のお店に来るお客様や小さい子供達にも話しかけてくれて、待つてもらっている間に一緒に遊んでいたたり、話をしていてくれたりするのですごく助かっています。

これからも素直で元気にすくすくと成長して行ってね。いつも癒しをありがとう。

親の思い

有明小学校保護者

あなたに出逢って親のことを思い出します。たくさんの人に助けてもらって、あなたと一緒に成長してきました。友人も身近な人もいない志布志の地で子育てをするとなった時、初めは頼る人や場所も分からず不安でした。でも、あなたを通して知り合った人や頼れる場所を知りました。小さな頃から「感謝をなさい。」と言われていたことが今分かるようになりました。まだ幼いあなたに、感謝を忘れずに、と伝えても、きっと分からないだろうけど、ぜひ覚えていてほしいことがあります。それは、たくさんの人に支えられてあなたがいます。

子供たちの笑顔を大事に

有明小学校保護者

私は、小学三年生の男の子と、二才の女の子を育てています。毎日のように、怒ってばかりだけど、家の事をすすんで手伝ってくれたり、お願い事を聞いてくれたりする、すごく優しい子供がとても大好きです。褒めてあげたり、ハグをしたりすると、クシヤツと笑う顔がかわいいです。いつまでも子供の笑顔が見られますように。

貴女がいるだけで・・・

山重小学校保護者

貴女がいるだけで、皆が元気になります。
貴女がいるだけで、皆も笑顔になります。
貴女が悲しいと、皆も悲しくなります。
貴女が辛いと、皆も辛くなります。

これから先、もっともつと悲しく辛い事の連続かもしれません。
でも大丈夫。私も健一郎も皆で、全力で、貴女を守ります。それだけは、覚えていて下さい。
貴女が笑顔でいてくれる事が・・・
貴女が元気でいてくれる事が・・・
私達家族の生きる糧です。

貴女がいるだけで

私の人生 万々歳

地域の方へ

夢や目標

友人へ

友だちへ

泰野小学校二年

わたしがこまっているときに、なぐさめてくれてうれしかったよ。よくケンカをするときもあるけど、「けんかするほどなががいい」って言うよね。いっしょにあそぶのがわたしはすきだよ。いつも明るいし、あそぶと楽しくなるよ。これからも、もつともつとあそぼうね。

大切な友だち

泰野小学校五年

わたしが初めて転校してきた泰野小学校。最初に声をかけてくれたのは、同級生のみんな。わたしは、みんなと初めて会った時、ドキドキしていた。でも、みんながやさしい言葉で声をかけてくれたり、一緒にお話をしたりしてくれたので、わたしはとっても学校に通うのが楽しくなってきた。泰野小学校はやさしい人たちがたくさんいて、いつでも助け合いができています。

わたしの泰野小初めての運動会の時、「今日は初めての運動会だね。みんなで協力し合ってがんばろう。」と言われた。わたしも、きつとみんなもとっても楽しかった。わたしは、泰野小学校のみんなが大好きです。これからも、やさしい泰野小学校のみんなदैいてね。

ありがとうと言う言葉

泰野小学校運営協議委員

「ありがとうございます。」といつも言えることの素晴らしさを考えてみてください。どんな些細なことでも、自分にとってためになることを教えてもらったり、できないことを手伝ってもらったり、自分の知らないことを教えてもらったり、自分では気づかなかったことでも、他の人は知っていることの多いこと。

このように、自分一人では、何もできないことの方が多々あります。そんな中で、「ありがとうございます。」と一言添えるだけで、お互いが尊敬し合う関係になっていき、お互いが仲良くなっていけると思います。

どうぞ、身近な人に「ありがとう」と言ってみてください。

己を知る

泰野小学校運営協議委員

人は皆得意なこと、不得意なことがあります。

まずは、自分は何が好きか、何が得意なのかを見つけてみましょう。それをとことん追求し、楽しみながら取り組むことで、思わぬ力が発揮できます。

楽しむことでマイナスな気持ちをプラスな気持ちに転換し、後押ししてくれるでしょう。

おともだち

志布志小学校一年

わたしは、4がつにしぶししようがっこうに、にゆうがくしました。さんじゆうきゆうにんのくらすです。さいしよはきんちようしました。いまは、みんなとおはなしたり、あそんだり、まいにちたのしいです。だいじなおともだちがいます。おともだちがこまったときは、たすけます。わたしがこまったときはおともだちがたすけてくれます。だいじなおともだちができて、うれしいです。いつもありがとうございます。

みまもつてくれてありがとう

志布志小学校三年

わたしはいつもかんしゃしている人がいます。

それは、いつもわたしたちが登校する時間にみまもりをしてくれる地いきの人たちです。

その人たちは、雨の日もあつい日もさむい日も、えがおで「がんばってね。」「いってらっしゃい。」「おはよう。」と声をかけてくれます。

わたしは、そのような声かけを毎日してもらえて元気よく登校できるし、安心して登校できます。

そのような地いきの人たちへのかんしゃをわすれないで毎日元気に登校したいです。

地いきの人たち、いつも朝早くみまもつてくれてありがとうございます。

とこやのおじちゃん

志布志小学校三年

ぼくが学校に登校する時、毎朝横たん歩道に立っているおじちゃんがいます。近くのとこやのおじちゃん、大雨の日もあつい日も、ぼくたちが事ここにあわないように交通ゆうどうをしてくれています。そして、一人一人に明るくあいさつをしてくださるので、ぼくも元気になるし、一日ががんばるぞという気もちになります。

そんなおじちゃんは何日間か立っていない日がありました。

ぼくは、「何かあったのかな…。さびしいな…。」と心配になりました。でも、すぐに笑顔で元気なおじちゃんがいつものように立っていて、ぼくはすぐうれしかったです。いつかおじちゃんに直せつ「ありがとう」を伝えたいです。

さきえてくれた友達へ

志布志小学校五年

ぼくは今年の四月に志布志小学校へ転校してきました。

初めて教室へ行くときはきんちようして、とてもどきどきしました。

そんなときに助けてくれたのは、ようち園のときいっしょだった友達です。その友達のおかげで休み時間にクラスの友達と話をしたり、遊んだりすることができました。そうやって少しずつコミュニケーションを取って友達を増やしていき、今ではクラスのみなどと友達になりました。ようち園からの友達、いつもいっしょにいてくれてありがとうございます。

地いきの人々へ

香月小学校五年

わたしの家の近所には、やさしいおじいちゃんおばあちゃんがあります。わたしが小さいころ庭で遊んでいたら、「おいで」と言って、畑で育てた野菜をくれたり、いっしょに遊んでくれたりしました。一年生になると、朝登校する時には、わたしたちが事故に合わないように、見守り隊をしてくれています。いつも声をかけてくれて、うれしいです。そんなおじいちゃん、おばあちゃんがいってくれるから、わたしは、とても心強いです。感謝しています。

いつまでも元気でいてほしいです。わたしも地いきの人たちに元気をとどけたいです。

ぼくのすきなこと

安楽小学校二年

ぼくは、サッカーをならっています。

はじめてのしあいの日、ぼくはゴールをきめることができてとてもうれしかったです。チームのみんなもいっしょによるこんでくれました。みんなありがとう。

しあいのあとは、おうえんにきてくれていたかぞくにもほめられました。ありがとうございます。

じぶんがみんなにでもらってうれしかったので、なかまがゴールをきめたときには、いっしょによるこんで、ミスをしたときにはこえをかけて、あいてをおもいやっていききたいです。

これからも、なかまとまわりのひとをたいせつにして、ありがとうとつたえていきたいです。

ぼくのうれしかったこと

安楽小学校一年

ぼくは、一年生になってうれしかったことがたくさんあります。ひとつは、ともだちがたくさんできたことです。ともだちといると、とてもたのしくてえがおになります。みんなありがとう。六年生は、あさのじゅんぴをてつだってくれました。ぼくは、六年生がきてくれるのがたのしみでした。六年生のおにいちちゃん、おねえちゃんありがとう。ぎゆうにゆうパックをひらくのができなかったけど、せんせいにおしえてもらったら、じょうずにひらけるようになりました。せんせい、ありがとう。これからもありがとうのきもちをたいせつに、いろんなことをがんばります。

友だち

安楽小学校三年

わたしの友だちはとてもやさしいです。わたしが、ゆうきを出して「遊ぼう。」と声をかけると「いいよ。」と言ってくれました。とてもうれしかったです。いっしょに話をしたりおりがみでかわいいものを作ったり、絵本を読んだりと楽しい時間でした。遊んでいるときは、とても楽しかったです。いっしょに遊んでくれてありがとう。

そして学習の時も、となりの席になったときには、分からないところをていねいにやさしく教えてくれました。これからも、友だちを大切にしていきたいです。

友達・家族・先生へ

安楽小学校六年

私には、すてきな友達と家族、先生がいます。学校には、「おはようございます」と元気に話しかけてくれる先生がいます。そして、積極的に話しかけてくれる友達もいます。なので私は学校に行きたいと思うような日がたくさんあります。ですが、学校だけじゃないです。家に家族といっしょにいたいと思う日もおなじくらいあります。私は、長女なので手伝いをまかされることがたくさんあります。でも手伝いをしたあとに母と父が言ってくれる「ありがとう」は、心の底からうれしいです。たまに、先生や母、父におこられることがあります。とても仲の良い友達とけんかする時もあります。私は、この何気もない日常を大切にしていこうと思います。

いつもがんばっているやさしい友達へ

田之浦小学校六年

私の友達はどうなときでも、やさしくしてくれています。いつもいつも、応えんしてくれています。毎日、笑顔で遊んでくれます。その笑顔にはげまされています。もちろんけんかもあるけれど、すぐ「ごめんなさい。」が言えるのは仲がいいでしょう。ごだと思いません。ずっと昔からいてくれてまるで家族みたいに私は思っています。おたが言葉では、上手に言えないけれど、心ではつながっていると思います。いつも一緒にいるからこそ無理をしないで思うけれど、心でただけではうれいす。これからも一緒に遊んだりしようね。いつもありがとう。

元気

伊崎田小学校六年

いつも、やさしく声をかけてくれてありがとう。ぼくは、クラスメイトのおもしろい言葉から毎日、元気をもらっています。

あと、ぼくが算数の時に分かりやすく教えてくれてありがとう。とても助かりました。その後も、みんなに教えていたね。

これからも、いとことしてぼくのことをよろしく。

大切な人へ

蓬原小学校六年

ぼくは、この学校のみんなや、ここ以外の人も、大切なんじゃないかと思いました。なぜなら、ここに生きていているし、だれかのためになれるかもしれないから、今の時間が大切だと思います。そして、大切な相手がいるから何かを出来るのではないかなと思いました。なので、相手を手大切にしておごす生活もいいのかなと思いました。だけど、相手だけではなく少しは、自分も大切にしたいほうがいいと思います。だから自分も相手も大切に平等にするのがいいと思いました。

いつも話を聞いてくれる友達へ

野神小学校五年

一年生のころからずっと同じで、色々な話をしたり、聞いたりしてくれてありがとう。学校行きたくないなって思う日もあったりしたけど、がんばって行って、教室に行けば、みんな笑顔で「おはよう」って声をかけてくれたおかげで楽しく一日をすごしたりできたよ。ありがとう。宿泊学習の時もはじめて、お母さんやお父さん、家族とはなれてすごすから少しきんちようしていいけど、同じはんの人とかがよく話しかけてくれたからきんちようがほぐれて楽しく、しっかり宿泊学習をすることができて良かったよ。ありがとう。なやみとかも聞いてくれてスッキリしたよ。いつもありがとう。そしてこれからもよろしくね。

ありがとうのかわり

有明小学校四年

雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、いつも見守ってくれるスクールガードさん。私たちよりも早く家を出て、見守ってくれている。

妹と一緒にいないと、どうしたの？って心配してくれて、私の元気がないと、どうしたの？ってすぐに気づいてくれる。

でも、はずかしくて、「ありがとうございます。」がなかなか言えない。

真っ黒に日焼けした顔いっぱい笑顔で、「元気におはようございます。」って言ったたら、ありがとうのきもちが伝わるかな。

スクールガードのおじちゃんへ

有明小学校六年

こんにちは、ぼくは有明小の六年生です。いつも学校の周りで見守ってくれてありがとうございます。スクールガードのおじちゃんのおかげで、ぼくたちはるので安心して学校に通うことができるのでとても感謝しています。毎朝、学校へ行くときに、道路で交通整理をしてくれるおかげで安心して歩くことができます。特に、朝の忙しい時間にぼくたちのために気を配ってくれる姿を見て、ほんとうに心強く感じています。これからもどうぞよろしくおねがいします。ぼくたちも交通ルールを守って安全に過ごしますようにしますので、よろしくおねがいします。

地域の方々への感謝

通山小学校六年

私は、毎朝中島坂から登校します。毎日ほりぐち前の交差点に地域の方々朝早くから立っているのを見かけます。いつも「おはよう。」と声をかけてくださり「おはようございます。」と声をかけるだけで心が少し明るくなります。私たちが事故にあわないようにいつも見守ってくださいとても感謝しています。運動会のバルーンリリースや有明音頭なども一緒にしたりしてとても楽しかったです。スクールガードさんの方々が見守っていると私たちは安心して学校へ登校できます。とてもありがとうございます。

いつもいっしょに歩いてくれる友だち

原田小学校五年

いつもいっしょに歩いてくれる友だちがいます。友だちは、わたしのつまらない話を聞いてくれるし、おもしろい話でわらってくれてとてもやさしいです。毎日いっしょに歩いてくれます。毎日いっしょに歩いているのに話題は、つきないです。話す事は、じゅぎょうの事とか、最近だったら、修学旅行で何をするか話しています。

わたしが、学校にもどれたのは、友だちがいっしょに学校に行ってくれるからです。いっしょに歩いてくれる友だちには、ありがとうの気持ちでいっぱいです。

若松さん、いつもありがとう

山重小学校五年

若松さん、いつもコンビニがある信号の前に立って、ぼくたちを見守ってくださってありがとうございます。ありがとうございます。みんなのために毎日のように立ってくださって、とてもうれしいです。若松さんが立っていてくださるだけで、とても安心できます。学校の友達もみんな同じ気持ちだと思いません。いつも学校に行くときに、「おはよう。行ってらっしゃい。」と声をかけてくださるから、ぼくも元気になります。お母さんや地域の方が車で通るときにも、黄色の旗をふるるところをよく見かけます。雨の日や風の強い日でも、毎日立ってくださっていて、若松さんはすごいと思います。ぼくは、最近車で送ってもらうこともあるので、歩いて登校するようにします。これからもよろしくお願いします。

やましげの合言葉

山重小学校運営協議会委員

わが山重校区には、合言葉があります。

それは、やましげの頭文字をとって「やるき・まっすぐ・しんけん・げんき」の4つの言葉です。

子供も大人も一緒になって、この合言葉をスローガンにして、さらに活気のある山重を目指して取り組んでいます。

子供たちは、夢を持ち、夢に向かって挑戦しています。

私たち大人は、その子供たちの夢を全力で応援していきましょう。

山重校区は、昔からチームワークがいいのが自慢のひとつです。今後も、学校・PTA・地域が力を合わせていきましょう。

山重フアイト！

友達の温かさ

松山中学校一年

僕の友達は何があっても、一緒にいると、とても楽しいです。先日、僕は落ちこんでいました。そのとき、その友達と一緒に過ごしました。すると、嫌なことが吹っ飛びました。いつも「頑張ろう。」と思わせてくれる友達は素晴らしいと思います。別の友達も部活動の練習の際に「頑張れ。」と励ましてくれます。いつもその言葉をバネにして本気になることができます。このような友達がいて、「僕は幸せ者だ。」と思います。僕も、これらの友達を見習って、優しい言葉をかけてあげたいです。そして、友情の輪を広げていきたいと思えます。

唯一無二の友達

松山中学校 三年

私には唯一無二の友達がいます。その友達は住んでいる家も近く、振り返ると、いつも隣にいました。たくさん遊びました。たくさんけんかもしました。それでもいつの間にか仲直り。「こんなことが続いたら、今があるんだ。」と、しみじみ思います。私と性格も違うし、考え方も違うけれど、「私たちなら大丈夫。」と幾度も思わせてくれます。そう思えるのは、その友達だけです。いろいろなところで助け合った君。競いあつてきて、ライバルでもある君。いつも本当にありがとう。そして、これからも迷惑をかけることがあるかもしれないけれど、よろしくお願いします。

友達へ

有明中学校一年

小学生のころからいつも一緒にいてくれたり、仲良くしてくれたり、遊んでくれてありがとう。面白くてその場を盛り上げてくれるから一緒にいてとても楽しいです。小学生のころに仲良くなつてからプライベートで一緒に遊んだり、お揃いのものを買ったり、中学生では一緒に専門部に入ったり、部活と一緒に頑張ったり、けんかをするのもたくさんあったけどいろいろなことを二人でできてとても楽しいです。これからの中学校生活も喧嘩をしたり、世間話をしたり、たくさん楽しんでなかよししようね。

中学校で離れたYへ

有明中学校一年

中学校で離れちゃったけどまた一緒に遊びたいです。小学校では私がちよつといろいろあって保健室登校になっちゃったけど、毎時間会いに来てくれてうれしかったです。プリントを持ってきてくれたり、私が注意されたときは慰めてくれたり、本当にありがとう。本当に頑張れた。いろんな人にも助けられたけどYが一番助けてくれました。この助けがあつて小学校も頑張つていけました、本当にありがとう。また会いたいです。

友達に感謝の気持ち

有明中学校一年

私は友達がいることで学校が毎日楽しいです。面白いことをやって笑わせてくれることもあります。つらいことがあつたら相談にも乗ってくれるので、気持ちがすっきりすることが多いです。私はこんなに助けてもらっているのも、私も恩返ししたいと思えました。部活で力を合わせて試合に出たり、コミュニケーションとったりして、部活も楽しいです！

私は友達がたくさんいなくてもその人だけで十分楽しいです！助けられることがあつたらたくさん助けたいです！

友達へ

有明中学校一年

Gくん、いつも君がそばにいてくれるおかげで、どんなときも心強いし、楽しい時間を過ごせてるよ。君の支えや気配りには、感謝の気持ちでいっぱいだよ。困った時に助けてくれたり、笑顔を分けてくれたりすることが、どれだけありがたいかは言葉じゃ伝えきれないくらいです。

これからも一緒に楽しいことをたくさん経験して、素敵なお出を作っていこうね。君との友情を大切にしていきたいと思ってるよ。本当にありがとう、これからもよろしくね！

親友への感謝

有明中学校一年

いつも一緒に遊んで、学校の行きや帰りも一緒にいてくれてありがとう。何でもできる僕の親友はいつも凄く頑張っています。僕は、それを見て頑張ろうと考えたことが何回もあります。今は、ちゃんと休み時間のときは、みんなとのコミュニケーションをとって、先生の話を聞いて、宿題も毎日欠かさずやっています。僕は、そんな親友を本当にすごいと思います。僕も、それを頑張つて見習いたいです。

大変だけど…

有明中学校二年

僕が感謝を伝えたい人は同じクラスのAくんだ。

なぜかという、僕が生徒会選挙に立候補したとき、応援演説を真つ先にすると言ってくれたからだ。作文用紙に演説する内容を書いて発表する。文字にすると簡単そうだが、時間もかかる上に、とても緊張する仕事なのだ。そんな大変な仕事を真つ先に引き受けてくれたAくんにはいつも感謝している。

いつも信号で見守ってくださっている地域の人へ

宇都中学校二年

私は小学校から七年間登校するときに、横断歩道を渡ります。その時にいつも見守ってくださる地域の人があります。朝渡るときに「おはよう。」とか、「今日もがんばってね。」と言ってくださいます。雨が降ったときは「今日は少しぬれているから渡るときは気をつけてね。」と心配してくれます。そしていつも笑顔で話しかけてくれるので私も笑顔になります。雨の日私はよく車で送ってもらいますが、その人はいつもいらっしゃるのでとてもありがたいと思えました。いつも見守ってくださっている地域の人にはとても感謝しています。

先輩へ

宇都中学校二年

今までありがとうございます。部活に入って上手くいくか不安だったけれど、先輩のおかげで楽しかったし、同じパートになれて嬉しかったです。一緒に演奏できたことは私にとって最高の思い出です。先輩が卒部するとき、不安でとても嫌でした。でも最後まで先輩の明るさと優しさにすぐわれました。「あなたならできる」と言ってくれたときは、嬉しかったです。先輩が卒部してから先生に「もつとこうして」と言われることが多くなりましたが、来年先輩に良い報告ができるようにがんばります。たまには、遊びに来て下さいね。

編集後記

この度、『志の言の葉』（第四集）の編集が無事に完了し、関係者の皆様の尽力により、素晴らしい一冊を仕上げることができました。

本文集は、市内の各小・中学校から厳選した作品と、地域の皆さまや保護者からの応募作品を一冊にまとめています。その中には、作品を寄せてくださった方の純粋な思いや、感謝の気持ち、個々の感じていることや考えていることが綴られた素晴らしい作品たちが詰まっています。これらの言葉たちは、それぞれの『志の言の葉』であり、未来へのエネルギーとなることでしょう。

これらの作品が集まった一冊は、家族や先生、友人や地域の方々への感謝の気持ちが大切に描かれています。そして、それは志布志市が一人一人の良さや「個性の伸長」とその融合の大切さを意味する『煮しめのおしえ』、練り上げることので姿が変わり持ち味が増す「確かな変容」を意味する『つけあげのおしえ』、そして握る人の温かみや一粒たりともおろそかにしない感謝の心を意味する『にぎりめしのおしえ』を大切に作る姿勢を映し出していると言えるでしょう。

今後も、このような取り組みを通じて、志布志市の教育をより充実させてまいります。今後もご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、第四集の発行にあたり、学校関係者様、寄稿してくださった児童生徒や保護者の皆様、そして地域の皆様に深く感謝申し上げます。

令和七年二月吉日

発行 志布志市教育委員会